

# フォトニュース

## 長男の元服を祝う伝統の儀式



1月6日、民田地区で江戸時代初期から伝わる新年と長男の元服を祝う「三矢の儀式」が、民田八幡神社で、地域住民約40人が見守る中、とり行われました。地区の子どもの数が減少しているため、大人が代役を務めるなどして、この儀式を伝えていますが、今年はその代役者がありませんでした。

## 新年への願い込めしめ縄作り

ふるさと館で12月19日から21日にかけて、「しめ縄作り講習会」が行われました。参加者は、悪戦苦闘しながらもわらをなつてウラジロなどを飾り付け、立派なしめ縄に仕上げました。



**いながわ 歴史ウォーク ⑦**  
五人組制度  
「五人組」とは、江戸幕府が強制施行した庶民の隣保組織です。原型は律令制下の五保制度で、直接には豊臣秀吉が治安のために置いた五人組・十人組の流れを汲みます。村方では総百姓を単位に、原則として5軒1組で組織し、相互監視、相互扶助、貢納確保などのため連帯責任制をとりました。のちには幕府・領主の意思伝達、相互扶助に重点がおかれ、明治時代になると「衛生班」、戦時中には「隣組」となりました。

今も慶弔時・農繁期・物資の貸借など近所づきあいの単位として残っているところがあります。「五人組帳」は法令と連判の証文であり、寺子屋の教科書にもなりました。文政10年(1827)の「紫合村御仕置五人組帳」は全74条からなり、庄屋が毎年正月・5月・9月・11月に全員に読み聞かせ、誓約を新たにしています。天明5年(1785)の「笹尾村御仕置五人組帳」では年貢米収納の連帯責任が強調されています。



笹尾村御仕置五人組帳

12月26日、木津地区の川辺酒造で日本酒の初搾りが行われました。「もろみ」を布袋に入れ、酒を搾り出す工程で、新米を使って行う初めての作業を「初搾り」と呼びます。搾った後は、にごりを沈殿、ろ過し、加熱殺菌を経て熟成させ、日本酒「花衣」として出荷されました。

## 町内唯一の酒蔵で初搾り



## 響き渡る音色に聞き入る

12月14日、静思館で「フラメンコギターの調べ」が開催されました。参加者約40人は、静思館内に響き渡るフラメンコギターの音色に聞き入っていました。



## 歌と演奏でクリスマスを楽しむ



12月23日、文化体育館で猪名川音楽協会による「クリスマスコンサート」が開催されました。参加者約120人は、3時間にわたるクリスマスコンサートを十分に満喫し、一足早いクリスマス気分を味わいました。



## 白銀の世界に大変身!

12月26日、この冬はじめての積雪を町北部地区で記録しました。大野山のふもとにある柏原地区では、車やさざんか・柿の木にも雪が積もるなど、あたり一面は白銀の世界となりました。



おおきいおも、ちいさいおも、いっぱいいっぱいうれしいな!

やまなか なおゆき 山中 直幸くん(年少)



おおきなおもがたくさんほれてうれしかったよ!がんばったぞ!

しばがき そうた 柴垣 壮太くん(年長)

かいゆうかんでジンベエザメをみたよ。とってもおおきかったよ!

にしもと しゅう 西本 志悠くん(年少)

ようちえんにポニーのロッキーくんがきたよ。すごくかわかったよ!

よしおか きせき 吉岡 紀征希くん(年長)



松尾台幼稚園

